意識障害でRRS起動され 鑑別を求められた一例

主訴:意識障害

現病歴:

肺結核胸郭形成術後、虫垂炎、白内障の既往がある

ADL自立した80歳代女性

Severe ASによる急性心不全で緊急入院

血管拡張薬、利尿薬による心不全治療後にAVR施行

術後CO2ナルコーシスとなり、人工呼吸器離脱困難のため

術後12日目に気管切開術施行

術後1ヶ月を経過し、人工呼吸器離脱、リハビリ入院中であった

前日耳鼻科介入し、嚥下評価を行っており、とろみ水で声帯麻痺はないが、pooling多量で喉頭流入を認め、経口摂取は難しい診断されていた

病棟看護師が患者の元にラウンド行った際に意識障害を認めRRS コールとなる

- 既往歷: 肺結核(右胸郭形成術施行後) 虫垂炎
- 薬剤:
 ワーファリン1.5mg,バファリン1錠,ランソプラゾール15mg レニベース5mg、メインテート0.625mg
- アレルギー:なし
- 生活歴: ADL自立、喫煙歴なし、飲酒歴 ビール350ml/日
- 家族歴:特記すべきことなし

ROS

- 全身症状:覚醒せずぐったりしている
- 皮膚:四肢末梢温かい、末梢チアノーゼなし、
- 頭部:頭痛なし、めまいなし
- 頸部:疼痛、硬直なし、リンパ節腫脹、甲状腺腫大なし
- ENT:眼瞼結膜発赤なし、分泌物なし、聴覚の変化なし、 鼻汁なし
- 呼吸器:咳嗽あり、黄色痰あり、喘鳴なし、呼吸困難あり
- 循環器:胸痛なし、動悸なし、浮腫あり、起座呼吸なし
- 消化器:腹痛なし、嘔気嘔吐なし、下痢なし
- 泌尿生殖器:尿意なし、排尿時痛なし
- 筋骨格系:関節痛なし、背部痛なし
- 神経:意識障害なし、しびれ感なし

身体所見

- バイタルサイン: BT 38.4°C HR 80、BP 90/60 RR 35 回/分
- 全身状態:覚醒せずぐったりしている
- 頭頚部:眼球結膜蒼白あり、眼球黄染なし

口腔内乾燥あり 舌根沈下あり

頸部硬直なし、リンパ節腫脹なく、頸静脈の怒張なし気管偏位なし、気管切開部出血なし、皮下気腫なし

- 肺:呼吸音rhonchiあり、左呼吸音源弱あり
- 胸郭運動左右差なし
- 心:心雑音なし
- 腹部: 平坦、軟、鼓音なし、腸蠕動音あり
- 四肢:下腿浮腫なし、四肢末梢温かい、末梢チアノーゼなし
- 神経:GCS E2VTM2、MMT2/2/2/2、瞳孔径3.0mm、左右差なし、 対光反射あり

検査結果

- WBC 20,700 /μl、RBC 304 万/μl、Hb 9.3 g/dl
 HCT 28.8%、PLT 25. 9万/μl
- NEUTRO 91%、Band 34.0%、SEG 57.0 %、MONO 3.0% Lymp 6.0 %
- Na 138, K4.7, Cl 103, CRP 5.6
- BUN 46.4 mg/dl Cr 0.82 mg/dl
- AST 34 U/L, ALT 40 U/L, LDH 244 U/L
- PT 17.7 秒、PT-% 29.9 %、PT -INR 1.68、APTT 41.9

動脈血血液ガス分析

pH 7.498, PCO $_2$ 48.3Torr, PO $_2$ 70.8Torr, HCO $_3$ 37.2mmol/L AG BE 12.5mmol/L, Lactate 1.8mmol/L,

検査結果

 胸部X線 両下肺野に浸潤影あり(左>右)、心拡大あり 前日に比べて明らかな変化なし

鑑別診断

- 意識障害 AIUEOTIPS
- 最もあり得る病態:感染症
- 次にあり得る病態:STROKE

見逃してはいけない(特に治療しうる)病態: 低血糖

初期介入

輸液負荷(細胞外液500ml全開投与) 輸液反応性確認後、60ml/時間で投与

• NAD開始0.03γ

介入した特定行為

- 直接動脈穿刺法による採血
- 橈骨動脈ラインの挿入
- 抗菌薬の選択
- 輸液負荷実施
- カテコラミン投与量調整
- 気管カニューレ交換 (カフ上部吸引付きに交換)

抗菌薬の選択

- 血液培養、痰培養、尿培養を実施
- 上記培養結果を待つ間、empiricに抗菌薬を SBT/ABPC、バンコマイシンを開始
- 尿臭あり、尿道カテーテル挿入後混濁尿、血尿あり
- 尿検査で白血球多数、細菌3+、亜硝酸塩2+であり 抗菌薬をCTRX+MNZに変更した

尿培養結果

Proteus mirabills 2+

痰培養結果

- Staphylococcus aureus (MRSA) 3+
- Klebsiella oxytoca 1+

MRSAは前回の培養結果でも検出

最終診断

気管カニュラの痰による閉塞【低酸素血症】による意識障害

- Proteus mirabillsによる下部尿路感染症
 - 循環血液量減少性ショック
 - 敗血症性ショック